

# 10月24日は、国際ポリオデーです。

ポリオ根絶まであと少し。

国際ロータリー2550地区の全クラブで、ポリオに関するイベント、卓話などを実施し、理解を深めましょう！



## 活動例

- ・地域のイベントにて、ポリオ根絶ブースを設置する。
  - ・市民へチラシ配布
  - ・会員の勉強会・募金
- 活動のための資料はこちら



## ポリオを根絶する5つの理由

### 1 生活の向上

ポリオ根絶活動のおかげで、身体まひにならずにすんだ人の数は1900万人、命を落とすことのなかった人の数は150万人に上ります。

### 2 未来への投資

ポリオが根絶されなければ、今後10年間に、毎年20万人の子どもが身体まひになる可能性があります。ポリオの根絶は、すべての子どものためにより健康な世界をつくることです。

### 3 子どもの健康を向上

ポリオ根絶のサーベイランス（監視）や予防接種活動では、ビタミン欠乏やはしかといったほかの健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できます。

### 4 医療費の削減

世界的なポリオ根絶活動により、1988年以来すでに、270億ドルの医療費が節約されています。2050年までに、さらに140億ドルが節約されると予測されています。

### 5 歴史をつくる

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。



1980年代末の時点で、毎年35万人の子どもがポリオによる身体まひの犠牲になっていました。ロータリーとパートナー団体は今日までに、ポリオの症例を99.9パーセント減少させることに成功しています。しかし、ポリオウイルスを完全になくすには、以下の活動のための追加資金が必要となります。

### 予防接種

毎年4億人以上の子どもへのポリオ予防接種

### サーベイランスの向上

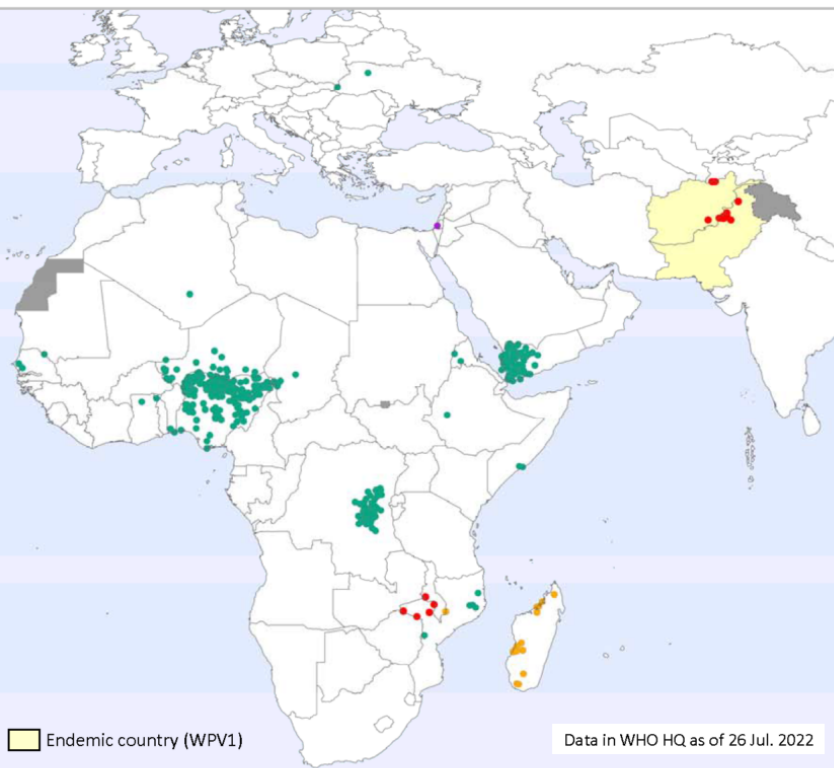
ポリオウイルスを人または環境から検知するためのサーベイランスシステムの向上

### 保健従事者の雇用

すべての子どもに予防接種を行うために戸別訪問を行う15万人以上の保健従事者の雇用

[endpolio.org/ja](http://endpolio.org/ja)からご支援を

Global WPV1 & cVDPV Cases<sup>1</sup>, Previous 12 Months<sup>2</sup>



- 野生型ポリオウイルス1型
- 循環型ワクチン由来ポリオウイルス1型
- 循環型ワクチン由来ポリオウイルス2型
- 循環型ワクチン由来ポリオウイルス3型

・野生型ポリオ発症事例はパキスタン、アフガニスタンに限られてきましたが、根絶宣言をしたはずのアフリカ地域（マラウイ、モザンビーク）で今年になって発症例が報告されてしまいました（●）。

・循環型ワクチン由来ポリオ発症事例の90パーセント以上は、2型のワクチン株に起因しています（●）。

・野生型ポリオウイルス2型が根絶されたことにより、2016年以降、全3種類の野生株ポリオウイルスを予防する三価経口ポリオワクチン（tOPV）の使用をやめ、1型と3型の野生株ポリオウイルスを予防する二価経口ポリオワクチン（bOPV）に切り替えが進んでいます。

・ポリオの感染リスクが高い国では、免疫力をさらに高めるため、bOPVに加えて不活化ポリオワクチン（IPV）の接種が、定期予防接種に組み込まれています。



World Health Organization

<sup>1</sup>Excludes viruses detected from environmental surveillance; <sup>2</sup>Onset of paralysis 27 Jul. 2021 to 26 Jul. 2022